ハードウェアガイド

バージョン 8.4 | 2014 年 6 月 | 3725-69784-002

Polycom® RealPresence® Collaboration Server (RMX) 1800 ハードウェアガイド

Copyright© 2014, Polycom, Inc. All rights reserved. 本書の如何なる部分も、どのような目的であれ、Polycom, Inc. の書面による明確な許可なしに、電子的、機械的など何らかの形式や手段により複製、他の言語や形式への翻訳、または伝送することは禁じられています。

6001 America Center Drive
San Jose, CA 95002
USA

Polycom®、Polycom ロゴ、Polycom 製品に関連する名称およびマークは、Polycom, Inc. の商標および / またはサービスマークであり、米国およびその他の国々において登録および / または慣習法上のマークです。その他すべての商標は各所有者に帰属します。この文書の如何なる部分も、Polycom の書面による明確な許可なしに、受取者の個人的使用以外の目的で、任意の形式または手段によって複製または伝送することは禁じられています。

Java は Oracle America, Inc. および / またはその関連会社の登録商標です。

エンドユーザ使用許諾契約 本製品をインストール、コピー、または使用することによって、あなたは本製品のエンドユーザー使用許諾契約の条項を読み、理解し、それに拘束されることに同意することになります。エンドユーザー使用許諾契約書は、本製品の Polycom Support ページで入手できます。

特許情報 付随する製品は、Polycom, Inc. が所有する 1 つまたは複数の米国および外国特許および / または出願中の特許によって保護されている場合があります。

本製品に使用されているオープンソース ソフトウェア 本製品にはオープンソース ソフトウェアが含まれている場合があります。該当する製品またはソフトウェアの配布日後最大 3 年間、あなたは当該ソフトウェアの発送または配布にかかる Polycom の費用を負担することにより、当該オープンソース ソフトウェアを Polycom から受け取ることができます。

免責条項 Polycom では、本書に正確で最新の情報が含まれるように妥当な努力を行いますが、その正確さに関する保証や表明を行いません。Polycom は本書の内容に誤字、その他の誤り、または脱漏がある場合に、その責任や義務を負いません。

責任制限 Polycom および / またはそのサプライヤーは、如何なる目的に対しても、本書に含まれる情報の適合性に関する表明を行いません。情報は如何なる種類の保証も行わずに「現状のまま」で提供され、予告なく変更される場合があります。その使用によって生じる全損害は、情報の受取者に留まります。Polycom および / またはそのサプライヤーは如何なる場合にも、直接的、間接的、二次的、実害的、懲罰的またはその他の損害に対して、それがどのようなものであれ (事業利益の喪失、事業の中断または事業情報の喪失を含み、それらに限定されない損害)、たとえ Polycom が斯かる損害の可能性について通知されていた場合でも、責任を負わないものとします。

お客様のフィードバック 弊社では、ドキュメント品質の向上に努めており、お客様からのフィードバックを尊重しています。ご意見・コメントを電子メールにて DocumentationFeedback@polycom.com までご送付ください。

Polycom サポート エンドユーザー使用許諾契約書、ソフトウェア ダウンロード、製品ドキュメント、製品ライセンス、トラブルシューティングのヒント、サービス要請などにつきましては、Polycom サポートセンターにアクセスしてください。

目次

ハードウェアの説明 1
主な機能 1
システムの仕様 1
会議の処理能力 2
リソース容量 3
非混合会議でのリソース処理能力 3
混合会議でのリソース処理能力 5

RealPresence Collaboration Server 1800 の設置 7
サイト必要条件 7
安全必要条件 7
シェルフマウントの安全予防措置 7
設置に関する予防措置 8
RealPresence Collaboration Server 1800 の設置 8
RealPresence Collaboration Server 1800 のシェルフへの取り付け 9
RealPresence Collaboration Server 1800 の電源への接続 9
RealPresence Collaboration Server 1800 の AC 電源への接続 9
RealPresence Collaboration Server 1800 フロント パネル 11
RealPresence Collaboration Server 1800 リアパネル 12
電源ユニットとステータス 12

規制通知 15
重要な保護対策 15
Remarques importantes concernant la sécurité 15
規制通知 16
米国およびカナダの規制通知 16
Russia Regulatory Information 17
カスタムユニオン (Russia, Belarus, Kazakhstan) 規制情報 17
EU 規制通知 17
Japan 17
Chinese 17
Korea 18

ハードウェアの説明

本書では、RealPresence Collaboration Server 1800 およびそのコンポーネントについて説明します。

	本書の図は参考用であり、実際のシステムを正確に反映していない場合があります。

主な機能

Polycom RealPresence Collaboration Server 1800 の機能は以下の通りです :

- Linux® 対応
- 標準ネットワークポート (H.323、SIP、LAN) サポート
- 新しいハードウェアコーデックテクノロジー
- 最大 1080p 60 の高品位ビデオ会議
- 電気通信事業者グレードの高い可用性、およびオンラインアップグレード
- 外部ネットワーク管理への会議要素の統合が容易
- 強化された Continuous Presence (マルチ画像ビデオ)
- IVR (インタラクティブ音声応答) モジュール
- H.264 SVC エンドポイントのみの会議と AVC-SVC 混合会議の両方をサポート
- ホットバックアップによる高可用性と迅速な回復ソリューションの提供

システムの仕様

次の表に、RealPresence Collaboration Server 1800 システムの技術仕様を示します。

物理仕様	
高さ	2U (8.9 cm.)
幅	17.36 " (44.1 cm.)
奥行き	19.13 " (48.6 cm.)
重量	最大 14.5 Kg (31.97 lbs)
メディアプロトコル	
オーディオ	SAC、G.711、G.722.x、G.729A、Siren 14、Siren 22 (モノラルまたはステレオ)、SirenLPR
ビデオ	H.261、H.263、H.263+、H.264、H.264 ハイプロファイル、H.264 SVC

ネットワークポート	
IP	H.323、SIP
LAN	LAN 1、LAN 2
電源	
AC 入力 / 範囲、出力	電圧範囲 :100-240 VAC 50-60 Hz. 電流 :10-3.5 AMP 最大出力 :740 ワット
消費電力	
AC 最大消費電力	350 ワット
環境	
動作温度	10° ～ 35 ℃ (50° ～ 35.00 ℃).
保管温度	-40° ～ 70°C (-40° ～ 158° F).
相対湿度	20% ～ 90% 結露なきこと
動作高度	5 KM (16404 Ft.) まで
動作 ESD	4 KV

会議の処理能力

次の表に、各種システムの能力をまとめています。

システムの機能	数量
1 つの会議における最大ビデオ参加者数	150
1 つの会議における音声のみの最大参加者数	300
1 秒あたりの最大音声通話数	5
1 秒あたりの最大ビデオ通話数	2
最大会議数	200
最大ミーティングルーム数	1000
最大エントリーキュー数	40
最大プロファイル数	80
最大会議テンプレート数	100
SIP Factories の最大数	40
IP サービスの最大数	2
IVR サービスの最大数	80

システムの機能	数量
最大レコーディングリンク数	20 (デフォルト)
IVR ビデオスライドの最大数	150
ログファイルの最大数 (1Mb 最大)	4000
CDR ファイルの最大数	2000
最大障害ファイル数	1000
参加者アラート数	制限なし
MCU に同時に接続される RealPresence Collaboration Server 1800 Web クライアント最大数	20
最大アドレス帳エントリー数	4000
最大ユーザ数	100
最大予約数 (内部スケジューラ)	2000

リソース容量

RMX 1800 システムはポートリソースを AVC HD720p30 ユニットに割り当てます。各通話タイプが要求するポート数は、AVC-SVC の混合会議と非混合会議では異なります。

以下に、異なるシステム構成、ライセンス、および会議モードのリソース処理能力を示します。

非混合会議でのリソース処理能力

次の表に、様々な通話のポート消費を示します。

表 : 非混合会議での様々な通話のポート消費

720p 30	1080p 60	1080p 30	SD	CIF	音声	SVC
1	4	2	1/2	1/2	1/3	1/3

言い換えると、1 つの 1080p 60 通話を行うには、4 つのライセンスポートが必要であり、1 つの 1080p 30 通話を行うには、2 つのライセンスポートが必要です。以下同様。

要求されるリソースが整数でない場合は、最も近い整数に切り上げられます。例えば、1 つの SVC 通話を行うには、ライセンスポートの 1/3 が要求されます。この場合、実際には 1 つのポートが割り当てられます。

次の表に、システムが 1 枚の DSP カードを装備している場合の非混合会議での各ライセンスのシステム処理能力を示します。

表 : 非混合会議で 3 枚の DSP カードを装備したシステムにライセンスされた処理能力

ライセンスポート数	1080p 60	1080p 30	AVC HD	AVC SD	AVC CIF	音声	SVC
5	1	2	5	10	10	15	15
10	2	5	10	20	20	30	30
15	3	7	15	30	30	45	45
20	5	10	20	40	40	60	60
25	6	12	25	50	50	75	75
30	7	15	30	60	60	90	90
35	8	17	35	70	70	105	105
40	10	20	40	80	80	120	120
45	11	22	45	90	90	135	135
50	12	25	50	100	100	150	150
55	13	27	55	110	110	165	165
60	15	30	60	120	120	180	180
65	16	32	65	130	130	195	195
70	17	35	70	140	140	210	210
75	18	37	75	150	150	225	225

次の表に、システムが 1 枚の DSP カードを装備している場合の非混合会議での各ライセンスのシステム処理能力を示します。

表 : 非混合会議で 1 枚の DSP カードを装備したシステムにライセンスされた処理能力

ライセンスポート数	1080p 60	1080p 30	AVC HD	AVC SD	AVC CIF	音声	SVC
5	1	2	5	10	10	15	15
10	2	5	10	20	20	30	30
15	3	7	15	30	30	45	45
20	5	10	20	40	40	60	60
25	6	12	25	50	50	75	75

混合会議でのリソース処理能力

次の表に、混合会議での様々な通話のポート消費を示します。

表 : 混合会議での様々な通話のポート消費

720p 30	1080p 30	SD	CIF	音声	SVC
3/2	3	3/4	3/4	1/3	1/3

言い換えると、1080p 30 コールを行うには、3 個のライセンスポートが必要です。要求されるリソースが整数でない場合は、最も近い整数に切り上げられます。例えば、1 つの SVC 通話を行うには、ライセンスポートの 1/3 が要求されます。この場合、実際には 1 つのポートが割り当てられます。

次の表に、システムが 3 枚の DSP カードを装備している場合の混合会議での各ライセンスのシステム処理能力を示します。

表 : 混合会議で 3 枚の DSP カードを装備したシステムにライセンスされた処理能力

ライセンスポート数	1080p 30	AVC HD	AVC SD	AVC CIF	音声	SVC
5	1	3	6	6	15	15
10	3	6	13	13	30	30
15	5	10	20	20	45	45
20	6	13	26	26	60	60
25	8	16	33	33	75	75
30	10	20	40	40	90	90
35	11	23	46	46	105	105
40	13	26	53	53	120	120
45	15	30	60	60	135	135
50	16	33	66	66	150	150
55	18	36	73	73	150	150
60	20	40	75	75	150	150
65	21	42	75	75	150	150
70	23	42	75	75	150	150
75	25	42	75	75	150	150

次の表に、システムが 1 枚の DSP カードを装備している場合の非混合会議でのシステム処理能力を示します。

表 : 混合会議で 1 枚の DSP カードを装備したシステムにライセンスされた処理能力

ライセンスポート数	1080p 30	AVC HD	AVC SD	AVC CIF	音声	SVC
5	1	3	6	6	15	15
10	3	6	13	13	30	30
15	5	10	20	20	45	45
20	6	13	26	26	52	52
25	8	14	26	26	52	52

メモ : 特別ライセンスについて
混合会議および非混合会議の両方に、特別ライセンスをご利用いただけます。これは、3 枚の DSP メディアカードで構成されたシステムに最大 100 ポート、1 枚の DSP カードのシステムに最大 35 ポートを供給します。
詳細については、現地の Polycom 担当者にお問い合わせください。

RealPresence Collaboration Server 1800 の設置

このセクションでは、サイト必要条件とシステム設置手順について説明します。

サイト必要条件

このセクションでは、システムを安全に設置および操作するための設置場所の要件について説明します。

安全必要条件

あなたの安全を守るため、装置を操作する前に次の安全注意事項をすべてお読みください。

- 濡れた床、アースされていない電源ケーブル、すり切れた電源コード、安全アースの有無など、作業エリアにおける潜在的な危険性について慎重に確認します。
- 室内のメインサーキットブレーカーの場所を確認します。
- 室内の非常電源 **OFF** スイッチの場所を確認します。
- 電源が回路から切断されているものと想定しないでください。
- システムに付属の電源コードのみを使用します。
- 電源コードは、保護アース端子を備えた電源コンセントにのみ接続します。
- システムの後ろから電源コードにいつでも簡単にアクセスできるようにします。
- 装置は、通気口が塞がれていない換気の良い場所に設置してください。
- RealPresence Collaboration Server 1800 装置の上に重いものを直接置かないでください。
- 装置の周囲で液体物を使用しないでください。

シェルフマウントの安全予防措置

ラックマウントの安全については、次の注意事項に従ってください。

- RealPresence Collaboration Server 1800 の周囲は常に清潔に保ち、散乱物がないようにします。
- RealPresence Collaboration Server 1800 装置を保持する装置ラックには適切な場所を選んでください。清潔でほこりがなく、換気の良い場所に設置する必要があります。高温、電気雑音および電磁場の生成される場所は避けます。アースされた電源コンセントの近くに設置する必要もあります。
- ラック底面のレベリングジャッキが床面に完全に延ばされ、ラックの全重量がジャッキにかかるようにします。
- 初めに一番重いコンポーネントをラックの下部に設置し、その後に上に設置していきます。
- 電源装置に触れる前に、電源装置を冷ましてください。

設置に関する予防措置

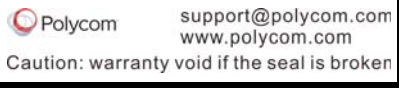
電気系コンポーネントの取り扱い時には、標準的な帯電防止に関する予防措置を講じる必要があります。

- アーススストラップを装着します。
- RealPresence Collaboration Server 1800 に取り付けないコンポーネントは、帯電防止バッグに保管してください。
- 電源ユニットの数 (最大 2 ユニット、デフォルトは 1 ユニット) は製品パッケージによって異なります。

RealPresence Collaboration Server 1800 の設置については、次の注意事項に従ってください。

- 電圧調整機能付きの UPS を使用し、パワーサージや電圧スパイクから RealPresence Collaboration Server 1800 を保護し、停電時にも MCU が停止しないようにします。
- RealPresence Collaboration Server 1800 は、机上など、固く平らな面または 19 インチラックに設置します。
- RealPresence Collaboration Server 1800 のエアフローは、前から後ろです。適切な換気を確保するため、システムの前後のその部分をふさがないようにします。

シールド システム !RealPresence Collaboration Server 1800 は封印されたシステムであり、シールを破ってシャーシを開くと**保証が無効になります !**



RealPresence Collaboration Server 1800 の設置

RealPresence Collaboration Server 1800 を設置場所に設置する際は、以下の手順に従ってください。

- システム の開梱
- システム をラックまたはスタンドアロンシステムとして設置する
- システム の電源への接続
- ネットワーク (*LAN* および *IP*) ケーブルの システム への接続

RealPresence Collaboration Server 1800 を開梱して取り出すには :

1. RealPresence Collaboration Server 1800 の納品時に、装置に損傷がないかを点検し、各コンポーネントを梱包明細とつき合わせて確認してください。
2. 梱包の一番上のカバーを開きます。

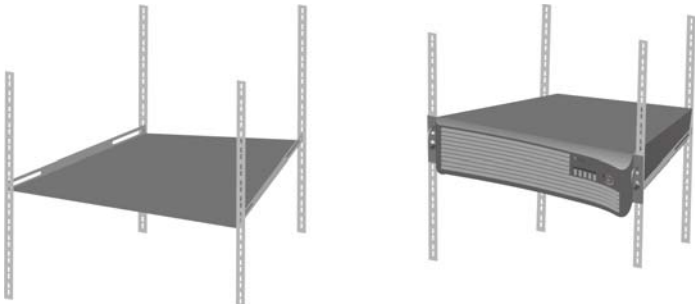
   箱が Stratocell® の上に配置されており、その中に電源ケーブル、イーサネットケーブル x 2、USB キー、およびドキュメントが入っています。

システム のシリアル番号は、ユニット背面のステッカーに書かれています。この番号は、後述の製品登録で必要となります。

必要な部品がすべて入っていることを確認してください。

RealPresence Collaboration Server 1800 のシェルフへの取り付け

次の手順に従って、システムをシェルフに取り付けます。



1 ラックメーカー製のシェルフをラックに取り付けます。
2 システム をシェルフの上に載せます。
3 システム 前面の取り付けブラケットにある 4 つの穴にネジを通して システム をラックに固定します。

RealPresence Collaboration Server 1800 の電源への接続

ラック取り付けの場合、接地に使用する線とコネクタに、以下の制限が適用されます。

- 裸線を使用する場合、圧着接続を行う前に、適切な酸化防止剤で被覆してください。この手順は、スズメッキ、はんだメッキ、銀メッキした線には適用しないでください。
- 同じボルトの組み合わせで、複数のコネクタを固定しないでください。
- 締め付け金具は、接合材に適合しなければなりません。また金具と接合材の緩み、劣化、電食を防止するものでなければなりません。

RealPresence Collaboration Server 1800 の AC 電源への接続

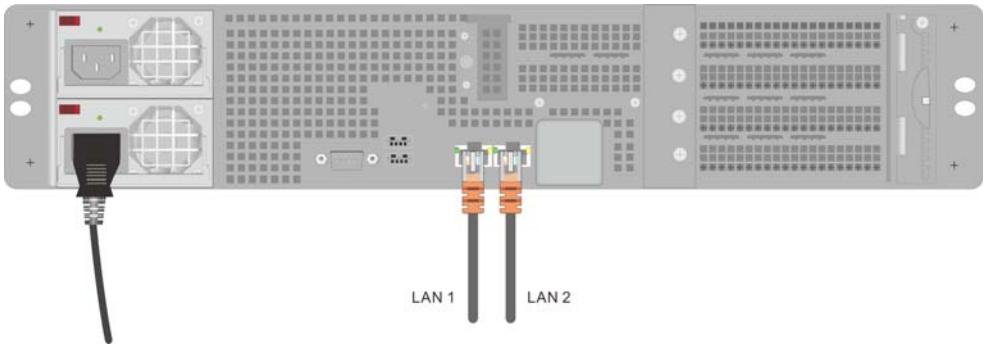
	必ず Polycom 供給の AC 電源ケーブルのみ使用してください。 保護接地線のサイズは、最低 10 AWG としてください。 電源コード接続専用コンセントを、建物またはラックの定格 20 AMP 以下の外部過電流遮断装置で保護してください。 ケーブルには、延長コードを使用しないでください。 システムを電源から外した場合は、必ずシステムを再起動してください。

» 電源ケーブルを RealPresence Collaboration Server 1800 システムのリアパネルの電源コネクタに差し込みます。

ケーブルを接続するには :

1 管理ネットワークケーブルを LAN 1 ポートに接続します。

2 メディアおよびシグナリングケーブルを LAN 2 ポートに接続します。



初めてシステムに電源を投入するには :

1 取り付け後、初めて使用する際は、変更した IP アドレスが入っている *USB キー*を システム バックパネルの *USB スロット*に差し込んでください。詳細については、システムの*スタートアップガイド*の「*手順 1: 初回の電源起動*」を参照してください。

2 RealPresence Collaboration Server 1800 のフロントパネルにある ON/OFF ボタンを押して電源を入れます。

	アクティベーションキーを入手する際に、購入されたすべての *Polycom ソフトウェアライセンス*の登録を求められます。例えば、暗号化およびネットワーク セパレーションのそれぞれに、異なる Polycom ソフトウェアライセンスがあります。

電源投入シーケンス中に、*lan.cfg* ファイルのパラメーターが USB キーからシステムのメモリにアップロードされ、適用されます。

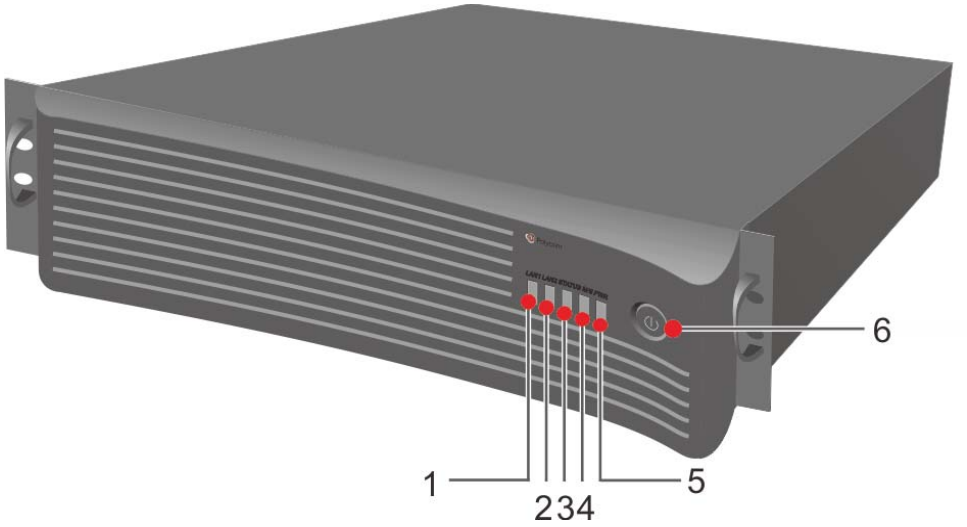
システムの電源投入シーケンスには 5 分程度かかることがあります。

システム の設定が完了すると（*管理*および *IP ネットワークサービスを含む*）、*システムエラー*がなければ、（システム のフロントパネルの）STATUS LED が緑色になります。

3 *USB キー*を抜き取ります。詳細については、*スタートアップガイド*、*「ハードウェアの説明」を参照してください。*

RealPresence Collaboration Server 1800 フロント パネル

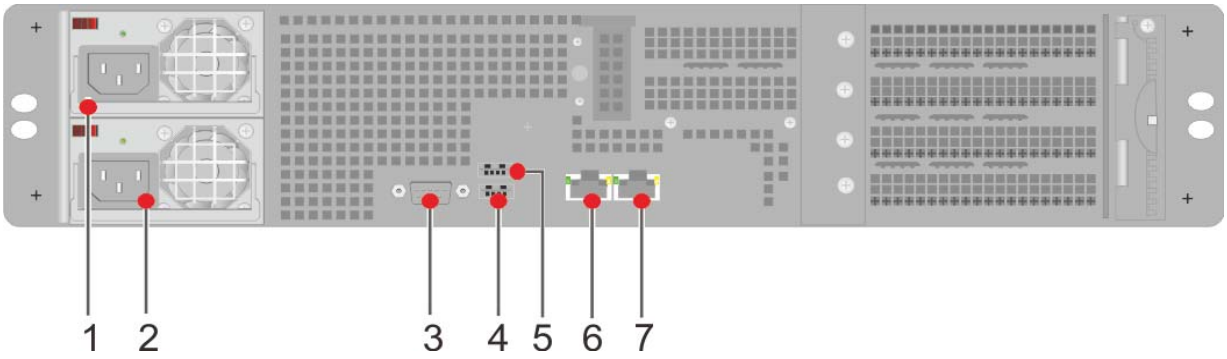
システムの電源をオンまたはオフにすると、フロントパネルからシステムの状態を見ることができます。



番号	名前	説明
1	LAN 1 LED	消灯 ― ネットワーク接続なし 緑色 ― ネットワークに接続済み 緑色の点滅 ― 使用中
2	LAN 2 LED	消灯 ― ネットワーク接続なし 緑色 ― ネットワークに接続済み 緑色の点滅 ― 使用中
3	STATUS LED	赤色 ― システムアラーム 緑色 ― エンドポイントが会議に接続されている 緑色の点滅 ― No システムアラームがなく、エンドポイントは会議に接続されている 青色の点滅 ― 診断テストを実行中 青色 ― 診断テストが完了 USB キー (該当する場合) を取り外し、システムを再起動します
4	M/S LED	青色 ― システムのアップグレードが完了し、再起動を待っている 青色の点滅 ― システムのアップグレードが進行中 緑色 ― システムは、シングルモード、またはホットバックアップでマスター MCU として正常に動作している 緑色の点滅 ― システムは、ホットバックアップでスレーブ MCU として正常に動作している
5	PWR LED	緑色 ― 電源は正常 赤色 ― 電源のアラーム
6	ON/OFF ボタン	RealPresence Collaboration Server 1800 システム の電源をオンまたはオフにします。

RealPresence Collaboration Server 1800 リアパネル

RealPresence Collaboration Server 1800 のリアパネルには、内蔵の電源およびファンユニット、USB、LAN、シリアルポートがあります。



番号	ポート	説明
1, 2	電源ソケットとファン	内蔵電源ソケットとファン
3	シリアル (RS 232)	診断専用
4	USB 1	USB キー接続用。詳細については、*RealPresence Collaboration Server 1500/1800/2000/4000 スタートアップガイド*、「*初回の設置と設定*」を参照してください。
5	USB 2	USB キー接続用。詳細については、*RealPresence Collaboration Server 1500/1800/2000/4000 スタートアップガイド*、「*初回の設置と設定*」を参照してください。
6	LAN 1	管理ネットワーク接続用。LAN 冗長性を有効にした場合、LAN 1 は管理、メディアおよびシグナリングネットワーク接続の両方のために使用されます。
7	LAN 2	メディアおよびシグナリングネットワーク接続用。LAN 冗長性が有効になっている場合は、LAN 2 は LAN 1 ポートのバックアップとなります。

電源ユニットとステータス

RMX 1800 はバージョン 8.3 以降から冗長電源ユニットをサポートできるようになりました。この冗長電源ユニットは RMX 1800 上のオプションユニットであり、追加注文する必要があります。冗長ユニットが装備されると、2 つの電源ユニットはお互いをバックアップし、ホットスワップが可能です。

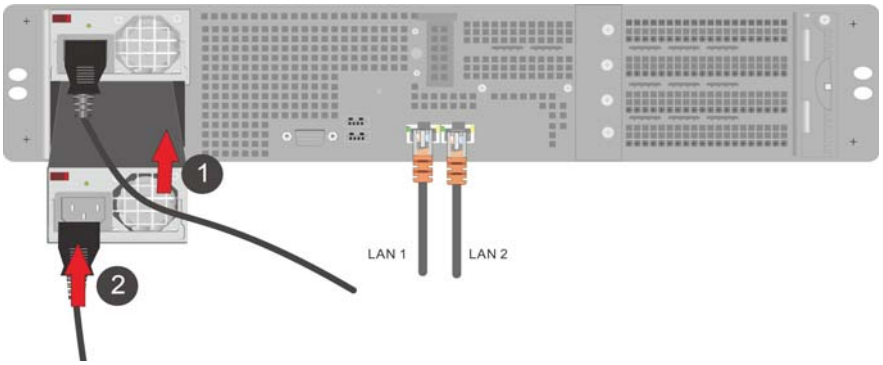
冗長電源ユニットの入手

RMX 1800 は、初期状態では 1 つの電源ユニットを装備して出荷されます。冗長電源ユニットを入手するには、ご利用のチャネル営業担当者にご連絡ください。

電源ユニットを挿入するには :

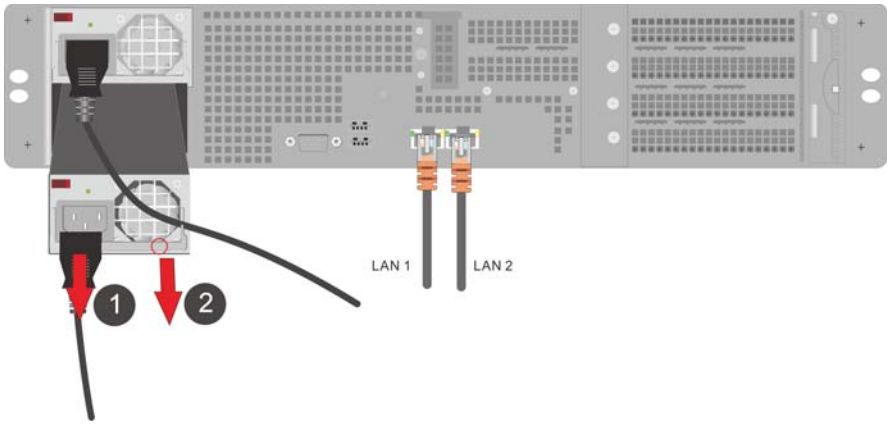
1 所定の位置にカチッと装着されるまで、電源ユニットをシャーシの中にスライドさせてます。
電源を接続せずに電源ユニットが装着されたことが検出されると、ビープ音が鳴ります。

2 付属の電源ケーブルを使用して電源に接続します。
これによりビープ音が止みます。
3 希望する電源ユニットをオンにします。



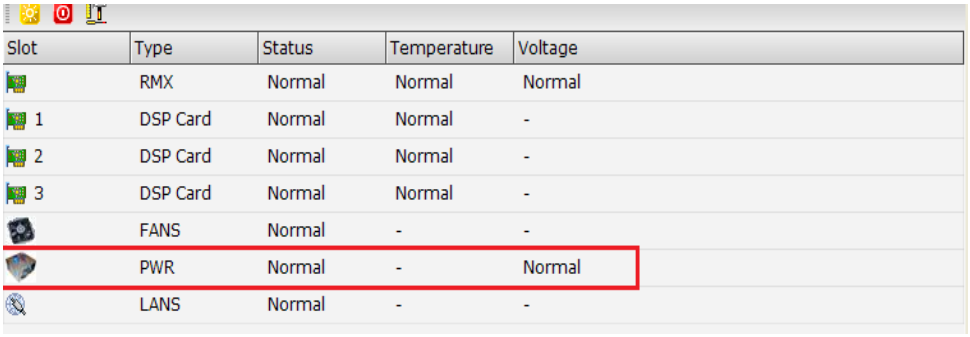
電源ユニットを取り外すには :

1 電源ユニットから電源ケーブルを外します。
電源を接続せずに電源ユニットが装着されたことが検出されると、ビープ音が鳴ります。
2 取っ手を使用して、電源ユニットを引き出します。
これによりビープ音が止みます。



電源ユニットのステータスを見るには :

» RMX 管理ペインで、**ハードウェアモニター** をクリックします。



Slot	Type	Status	Temperature	Voltage
	RMX	Normal	Normal	Normal
1	DSP Card	Normal	Normal	-
2	DSP Card	Normal	Normal	-
3	DSP Card	Normal	Normal	-
	FANS	Normal	-	-
	PWR	Normal	-	Normal
	LANS	Normal	-	-

以下の表に、電源ユニットのステータスを示します。

ステータス	説明
正常	装着した電源ユニットは正常に動作しています。
異常	装着された電源ユニットの少なくとも 1 つの動作が異常です。 詳細については、*「電源ユニットの異常ステータスをトラブルシューティングするには :」* (1-14 ページ) を参照。

電源ユニットの異常ステータスをトラブルシューティングするには :

» 電源ユニットのステータスは、以下のいずれかの場合に**異常**に変わります。

- 電源ユニットのいずれかが電源に接続されていない場合。

  電源を接続せずに電源ユニットが装着されたことが検出されると、ビープ音が鳴ります。電源ユニットを電源に接続するか、電源ユニットをシステムから取り外します。

- 電源ユニットのいずれかが取り外された場合。
- 電源ユニットのいずれかが機能していない場合。

  問題のある電源ユニットを取り外すか、交換します。電源ユニットはホットスワップが可能なため、動作させるためにシステムを再起動する必要はありません。

電源ケーブルを再度挿入すると、**異常**ステータスを解除できます。

規制通知

重要な保護対策

システムを使用する前に、次の説明をお読みになり、理解してください :

- 子供のそばや近くでシステムを使用する場合は、目を行き届かせる必要があります。使用中は装置を無人状態にしないでください。
- 少なくともシステムの定格電流と同じ延長コードのみを使用してください。
- 清掃や点検を行う前や使用しないときは、必ずシステムの電源を切ってください。
- 清掃する場合は、システムに液体を直接吹きかけないでください。初めに静電気の発生しない布に液体を付けてください。
- システムを液体に浸したり、システムの上に液体物を置かないでください。
- 本システムを分解しないでください。感電の危険を減らし、システムへの保証を維持するため、資格のある技術者が点検や修理作業を行う必要があります。
- 本装置を接地線に接続してください。
- システムは、サージ保護付き電源にのみ接続してください。
- 通気開口部を障害物で塞がないでください。
- システムや付属品をキャビネットなどの囲われた空間に設置する場合は、エンクロージャの空気温度が 40°C (104° F) を超えないようにしてください。装置を動作温度範囲内に保つため、強制冷却が必要な場合があります。
- 本製品を水のそばで使用しないでください。
- 雷雨時には本製品の使用を避けてください。落雷による感電の恐れがあります。
- カバーを外す前に、両方の電源コードを外して、システムの電源を遮断してください。
- メモ : 装置のインレットはデバイスの取り外しに使用できます。
- デバイス内にはユーザが補修できるパーツはありません。

	デバイスにはリチウム電池が入っています。電池を正しく交換しないと、爆発の恐れがあります。メーカーが推奨する同じまたは同等の電池タイプとのみ交換してください。使用済みの電池の処分はメーカーの説明に従って行ってください。

これらの説明書は保管してください。

Remarques importantes concernant la sécurité

Lisez les instructions suivantes et assurez-vous de bien les comprendre avant d'utiliser le système :

- Supervisez attentivement toute utilisation du système par ou près d'enfants.Ne laissez pas le système fonctionner sans surveillance.
- N'utilisez que des rallonges électriques dont le courant nominal est supérieur ou égal à celui du système.

- Débranchez toujours le système de la prise secteur avant de le nettoyer, de le dépanner et lorsque vous ne l'utilisez pas.
- Ne vaporisez pas de liquides directement sur le système lorsque vous le nettoyez.Appliquez toujours le liquide sur un tissu antistatique.
- Ne plongez jamais le système dans un liquide et ne posez jamais de liquide dessus.
- Ne démontez pas le système.Pour réduire tout risque d'électrocution et pour maintenir la garantie du système, les travaux de maintenance et de réparation doivent être effectués par un technicien qualifié.
- Branchez le système à une prise mise à la terre.
- Ne branchez ce système qu'à des prises protégées contre les surtensions.
- N'obstruez pas les orifices de ventilation de l'appareil.
- Si le système ou des accessoires sont installés dans un espace fermé tel qu'une armoire, veillez à ce que la température de l'air ne dépasse pas 40°C (104° F).Pour maintenir la température dans les limites d'utilisation du système, vous pourrez être amené à prévoir un système de refroidissement forcé.
- N'utilisez pas ce produit près de l'eau.
- Évitez d'utiliser ce produit pendant un orage.La foudre pourrait causer des électrocutions, même si le risque est faible.
- Avant de retirer un capot, débranchez les DEUX câbles d'alimentation pour séparer le système de l'alimentation en électricité.
- Remarque :La prise d'entrée de l'appareil peut servir à le débrancher.
- Le système ne contient aucune pièce réparable par l'utilisateur.

	L'appareil contient une pile au lithium.Son remplacement par une pile de type incorrect peut entraîner un risque d'explosion.Ne remplacez la pile que par un modèle identique ou équivalent, conformément aux recommandations du fabricant.Mettez les piles usagées au rebut conformément aux instructions du fabricant.

CONSERVEZ CES INSTRUCTIONS.

規制通知

米国およびカナダの規制通知

本クラス [A] デジタル装置はカナダ ICES-003 に適合しています。

Cet appareil numérique de la classe [A] est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

本装置は FCC 規則のパート 15 に適合しています。オペレーションは次の二つの条件に従うものとします : 本装置は有害な妨害を引き起こしてはならず、また望ましくないオペレーションを引き起こす可能性のある妨害を含む、受信された妨害を受け入れることができなければならない。

	本装置は試験により、FCC 規則のパート 15 によるクラス A デジタル機器の制限に適合することが証明されています。これらの制限は、当該装置を商業環境で動作させた場合に、有害な混信に対する妥当な保護を供給するために用意されています。本装置は高周波エネルギーを発生、使用、および放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しない場合は、無線通信に有害な妨害を引き起こす場合があります。住宅地域での本装置のオペレーションは、有害な電波妨害を引き起こす可能性があり、その場合には、ユーザーは自費による妨害の是正を要求されます。FCC 規則パート 15 に基づき、Polycom Inc. が明示的に承認していない変更や改造を行うと、本装置を稼働するユーザの権限が無効になる恐れがあります。

Russia Regulatory Information

Система	Номер регистрации	Дата истечения срока
RMX 1800	Д-СПД-6669	April 03, 2017

カスタムユニオン (Russia, Belarus, Kazakhstan) 規制情報

EAC

Система	Номер регистрации	Дата истечения срока
RMX 1800	KZ.7500506.23.01.00068	April 21, 2019

EU 規制通知

本 Polycom RMX 1800 システムには CE マークが添付されています。このマークは、EEC 指令 2006/95/EC および 2004/108/EC に適合していることを示します。適合宣言の全コピーは、Polycom Ltd, 270 Bath Road, Slough, Berkshire, SL1 4DX, UK から入手できます。

Japan

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準

に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

Chinese

声明

此为 A 级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对干 扰采取切实可行的措施。

Korea

A 급 기기 (업무용 방송통신기자재)

이 기기는 업무용 (A 급) 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며 , 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다 .